

2018 年度

日本ヒューマンライブラリー学会

Human Library Society of Japan

第 2 回大会

プログラム

2018 年 10 月 21 日(日)

プログラム内容

| | |
|------------|--------------------------|
| 12 時 00 分～ | 受付 (6F) |
| 12 時 30 分～ | 体験会 (5F 506, 508 教室) |
| 14 時 00 分～ | 基調講演 (6F) |
| 14 時 30 分～ | ポスター発表 (6F) |
| 15 時 40 分～ | 本役の体験談(パネルディスカッション) (6F) |
| 16 時 40 分～ | 休憩 (5 分) |
| 16 時 45 分～ | 総会 (5F 508 教室) |
| 17 時 30 分～ | 懇親会 (6F) |
| 18 時 30 分 | 終了 |

明治大学中野キャンパス
6 階プレゼンテーションスペース会場

ごあいさつ

2000年にデンマークの若者が始めた「人を貸し出す図書館」であるヒューマンライブラリー(Human Library)は、現在までに世界90カ国以上に拡がり、今や楽しい対話による相互理解促進ツールとして活用され、大きなムーブメントに成長しています。

わが国では2008年の初開催から10年目になる今年は、ヒューマンライブラリー開催の機運は一層拡がり、毎月平均2回のペースで全国各地で開催されており、開催形態にも多様性が見られるようになりました。昨年12月はNHKのニュース番組で、今年6月はテレビ朝日系列のニュース番組での放映で注目されたり、今年度から一部の高校の英語教科書でもリビングライブラリーという旧名称で取り上げられたこともあり、高校生など若い世代にも広がるきっかけになるなど、ヒューマンライブラリーは新たなステージを迎えています。

そうした事態の推移を背景に、昨年設立された本学会は日本の情報センターとして、またヒューマンライブラリーの実践と研究を集約し推進する重要な機関として、その役割を期待される立場になったといえましょう。

本学会設立2年目の今大会は、そうした意味で多様な実践者や研究者などの関係者が集い大いなる対話と交流の場になることを期待しています。

2018(平成30)年10月21日

日本ヒューマンライブラリー学会
理事長 坪 井 健

本日の流れ

12:30－13:45 ヒューマンライブラリー体験会 2018

「ヒューマンライブラリー体験会」に参加される方(読者)へ

本イベントは寛容で多様性のある社会を目指し、ふだん間接的にしかお話しすることのできない方々との出会いの機会を提供し、理解を深めてもらうことを目的に開催しております。

ヒューマンライブラリーのご利用にあたりましては、上記の目的、ならびに以下の利用規約への同意(署名)が必要となります。

〈利用規約〉

- 1) 意図的に「本」の方を傷つけるような言動はしない。
- 2) 主催者並びに「本」及び同席者に無断で会場内の撮影や録音、録画をしない。
- 3) 今回、読者として知り得た「本」の方の個人情報を許可なくブログ、インターネット、印刷物等のメディア上に公開しない。
- 4) 閲覧中に、「本」の方が身体的、精神的に苦痛を感じ継続困難になった場合には、途中で退席して頂く場合があります。
- 5) その他、緊急事態が生じた場合は、本の貸出中止になることがあります。その場合には、速やかにスタッフの指示に従っていただきます。

※以上の規約に反する行為を行ったと見なされた場合、利用を中止し退場して頂くことがあります。

利用同意書に署名された方にのみ、本との対話を許可いたします。

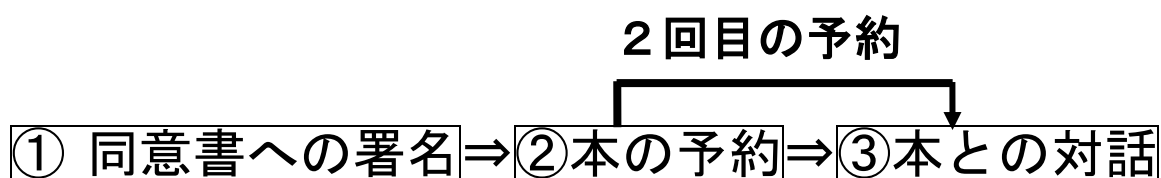
※スタッフが記録のため写真撮影することがあります。

顔出しを拒否される方は、係員にお申し出ください。配慮致します。

※なお、記入いただいた個人情報は、本イベントの利用登録以外に使用することは一切ございません。イベント終了後、責任を持って廃棄させていただきます。

※署名していただく利用同意書は、別紙で用意しています。

「生きた本」の貸し出しまでの流れ



H L 体験会 本の紹介

第 1 回目 12:30-13:00

第 2 回目 13:15-13:45

『弱点は強味！！』

No1

シリユウ

『「焼却処分すべき」
と述べられる対象
としての自分』

No2

桜井 啓介

『義足生活は波乱万丈か？
れとも波乱爆笑？』

No3

長谷川 義行

『こんにちはロリータ
ファッション活動家です。』

No4

璃月 愛

『決めないことに決めた。
だから私は、
Q(=クエスチョニング)』

No5

古谷 美桜

『障害者プロセスを
はじめて…仮』

No6

鶴園 誠

本のあらすじ

| 名前 | タイトル | あらすじ |
|---------------|---|--|
| シリユウ NO.1 | 弱点は 強味！！ | 「左上下肢機能障害」という大げさな名前の障害を負った。一般的には障害は負ったと言われるかもしれないが、私の場合は手に入れたという言葉の方が合っているかもしれない。それは、この障害こそが、私の今を形作っているからです。タイトルの通り弱点の生かし方等のヒントになればと思います。 |
| 桜井 啓介 NO.2 | 「焼却処分 すべき」と 述べられる 対象としての 自分 | 「科学的な説明は難しくてわからない、でも何となく怖い」という感情の行き着く先はどこにあるのでしょうか。そして、突きつけられたナイフに科学を武器にして抵抗するのは、医者でもなく、学者でもなく、患者なのです。HIV 感染症という研究途上の感染症を持つ立場から、科学と向き合い続ける暮らしについてお伝えできればと思います。 |
| 長谷川義行 NO.3 | 義足生活は 波乱万丈か？ それとも 波乱爆笑？ | 人生はちょっと不自由なくらいが丁度良い！ 良い加減さで適当に楽しんで行こう！ |
| 璃月 愛 NO.4 | こんにちは、 ロリータ ファッション 活動家です。 | 昔々あるところに、リボンとフリルに囲まれた女の子が居ました。 ひとりぼっちだった彼女は同じものが好きな人達を集め始め、次第に輪が広がっていきました。 今では世界中に仲間がいます。 |
| 古谷 美桜 NO.5 | 決めないこと に決めた。 だから私は、 Q(=クエス チョニング) | ① 決めないことに決めた。だから私はクエスチョニング 「初めての恋人は女性だった、私はいったい誰？」 ② 大切なことは「さよなら」が教えてくれる 「親友が飛び降りて私が思ったこと」 ③ジブンにしかできない社会貢献とは 「こんな私がなぜ事業をしたいのか」 |
| 鶴園 誠 NO.6 | 障害者 プロレスを はじめて…仮 | 生まれつき下半身麻痺の障害があり、5歳から車いすで生活を送る。施設入所から親元に引き取られたが、親からの虐待や障害がある上での社会からの抑圧を感じつつ大人になっていく。そんな自分が障害者プロレスと出会い、これまでの価値観が変わっていくことなどをお話します。どのような変化がうまれたのか？是非、聞きに来て下さい。 |

14:00-14:30 基調講演 6F

講演者：伊藤 義博 (いとう よしひろ) 氏
電通ダイバーシティラボ事務局長・ソリューション開発室 研究主席

講演テーマ：「電通ダイバーシティラボの考えるこれからの企業と社会」

講演概要：ダイバーシティを受け入れる企業と社会を構築するために、2011年6月(株)電通の中に立ち上がった電通ダイバーシティラボ(DDL)。障害・ジェンダー・多文化・ジェネレーションの全領域にまたがる20のプロジェクトを運営し、昨年渋谷区の「超福祉展」ではヒューマンライブラリーの開催にもトライしている。本講演では、ダイバーシティを社会に浸透させていく上で企業はどのような役割を果たし得るか、また大学や地域とどのように手を結んでいけるかなど、様々な実践経験を踏まえたお話をいただく。

「誰しもが持っている『偏見』が差別を起す。それは未知(自分の知識が無い部分)のものごとに対する不安が影響を与えている。多様な個性に対し最低限の知識を持つこと、自分の個性を尊重されたいように他者の個性にも関心を持つこと。知らないことを知る喜びを忘れないこと」(伊藤義博)

略歴：伊藤 義博 氏

早稲田大学政治経済学部政治学科卒。

1981年(株)電通入社。TV局担当(4年間)の後、営業(クライアント企業窓口)として、自動車メーカー、携帯キャリア、放送、自治体、事務機器、銀行、住宅メーカー等を25年間担当。その後IT系子会社に代表取締役副社長として3年間出向。帰任後、電通総研研究主席を経てソリューション室研究主席(現職)。上記業務と並行し、電通ダイバーシティ・ラボ(DDL)を2011年6月創設し、その準備段階から事務局長を務め現在に至る。

14:30-15:30 ポスター発表 6F

10名のポスター発表

15:40-16:40 本役の体験談 (パネルディスカッション) 6F

璃月 愛 ゴシック & ロリータサロン Wonder Teatime 代表
長谷川 義行
鶴園 誠 障害者プロレス団体『DOGLEGS』(ドッグレッグス)

16:45-17:30 総会 5F-508教室

17:30-18:30 懇親会 (6F)

2018 年度役員

| | |
|--------|-----------------------------|
| 理事長 | 坪井 健 (東京ヒューマンライブラリー協会) |
| 副理事長 | 横田 雅弘 (明治大学) |
| 事務局長 | 山下 美樹 (麗澤大学) |
| 理事(会計) | 岡 智之 (東京学芸大学) |
| 理事(渉外) | 工藤 和宏 (獨協大学) |
| 理事(広報) | 照山 絢子 (筑波大学) |
| 理事 | 佐藤 裕紀 (新潟医療福祉大学) |
| 監事 | 宮崎 聖乃 (ヒューマンライブラリーNagasaki) |

学会事務局 〒277-8686 千葉県柏市光が丘 2-1-1
麗澤大学 山下美樹研究室
Email: admin@humanlibrary.jp

日本ヒューマンライブラリー学会ホームページ <http://humanlibrary.jp>